R2.7.31

° • *:... ... :: * • ° ° • *:... ... :: * • Andante * * • ° ° • *:... ... :: * • ° • *:... ...

Vol.133

~北海道の自殺対策について~

Hokkaido

発行:北海道地域自殺対策推進センター

Government

(北海道立精神保健福祉センター内)

※『Andante:アンダンテ』とは

「ゆっくりと歩くくらいの速さで」という意味の音楽用語です。皆さんは最近、ゆっくりと歩いてみたことはありますか?ゆっくりと自分にとって適度なスピードで歩いているとき、私達の視野はいつもよりぐっと広がり、忙しく過ごす中では見過ごしがちなものに気が付くことがあります。月に一度「Andante」が届くたびに、皆さんがふっと一息つき、少しの時間だけでもゆっくり歩くことを思い出していただけたらと考えています。

一 目 次 一

- 【1】 北海道における自殺の現状
- ◇ 令和2年6月末の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]
- ◇ 令和2年上半期における累計自殺者数(暫定値)[警察庁発表]
- 【2】 自殺について知ろう
- 【3】 お知らせ
- ◇ こころの電話相談
- ◇ HP・携帯版 HP をご覧ください
- 【4】 編集後記

令和 2 年 6 月の北海道の自殺者数は 71 人でした。また、全国の自殺者数は 1,519 人、そのうち男性は 1,025 人、女性は 494 人でした。

以下に、北海道および全国の前月比と前年同月比の自殺者数を示します。

1. 令和2年6月末と令和2年5月末の月別自殺者数の比較

令和 2 年 6 月 〈北海道 71 人、全国 1,519 人、全国(男性) 1,025 人、全国(女性) 494 人〉令和 2 年 5 月 〈北海道 70 人、全国 1,556 人、全国(男性) 1,066 人、全国(女性) 490 人〉前 月 比 〈北海道 +1 人、全国 -37 人、全国(男性) -41 人、全国(女性) +4 人〉

令和2年6月の自殺者数は、前月比では、北海道・全国(女性)において増加、全国・全国(男性)において減少でした。都道府県別では、自殺者数が増加したのは23、減少したのは21、変化なしは3でした。

2. 令和2年6月末と令和元年6月末の月別自殺者数の比較

前年同月比では、北海道・全国・全国男性・全国女性のすべてにおいて減少でした。また、 都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは13、減少したのは31、増減なしは3でした。

1. 令和2年と令和元年の北海道と全国の上半期の累計自殺者数(単位:人)

	北海道	全国	男性(全国)	女性(全国)
令和2年(暫定値)	426	9,492	6,584	2,845
令和元年(確定値)	503	10,462	7,355	3,107
前 年 比	-77	-970	-771	-262

令和2年上半期の自殺者数は、前年に比べ、北海道・全国・全国男性・全国女性のすべてにおいて減少しています。特に、今年の北海道の自殺者の減少は大きく、47都道府県中東京に次いで2番目の減少数となっています。

2. 令和2年と令和元年の北海道における上半期の月別自殺者数(単位:人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
令和2年(暫定値)	71	63	77	74	70	71
令和元年(確定値)	77	85	82	91	96	72
前 年 比	-6	-22	-5	-17	-26	-1

月別では、令和 2 年 1~6 月の北海道で自殺者が最も多かったのは 3 月の 77 人でした。最も少なかったのは 2 月の 63 人でした。1~6 月の中で、前年よりも月別自殺者数が増加した月は

なく、最も減少したのは5月の26人でした。

3. 令和2年と令和元年の全国における上半期の月別自殺者数(単位:人)

	1月	2月	3 月	4月	5月	6月
令和2年(暫定値)	1,678	1,451	1,738	1,487	1,556	1,519
令和元年(確定値)	1,684	1,615	1,856	1,814	1,853	1,640
前 年 比	-6	-164	-118	-327	-297	-121

月別では、令和 2 年 1~6 月の北海道で自殺者が最も多かったのは 3 月の 1,738 人でした。最も少なかったのは 2 月の 1,451 人でした。1~6 月の中で、前年よりも月別自殺者数が増加した月はなく、最も減少したのは 4 月の 327 人でした。

参考文献

「自殺統計」、警察庁

◇「新型コロナウイルス感染症拡大による活動への影響に関する緊急アンケート調査」について[いのち支える自殺対策推進センター]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

厚生労働大臣指定法人「いのち支える自殺対策推進センター」(以下、JSCP)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自殺防止や自死遺族支援等に取り組む民間団体が活動の制限や休止を余儀なくされている実態を把握するために緊急調査を実施しました。今回のAndanteでは、こちらの調査についてご紹介させて頂きます。

- · 実施時期:令和2年4月24日~30日
- ・ 調査方法:オンライン調査および電話による補足調査
- ・ 調査対象:自殺防止や自死遺族支援等を行っている自殺対策民間団体70団体(厚生労働省 「自殺総合対策の推進に関する有識者会議」メンバーの団体、「自殺対策全国民間ネットワ ーク」の加盟団体等)
- · 回答率:回答 55 団体、回答率 78.6%

主な調査結果

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大による活動の現状

46 団体(83.6%)が新型コロナウイルス感染症の影響で活動を制限、休止しており、活動を全面的に休止している団体は、そのうち22 団体(40.0%)にのぼる。通常通り活動を実施している団体は9 団体(16.4%)に留まった。

2.「深刻な相談への対応(支援)」を行う上での影響

自殺等の「深刻な相談への対応(支援)」に「(新型コロナウイルス感染症の)影響が大きく、 支援に大いに支障がある」と感じているのは27団体(49.1%)。「影響はないので、従来通りの 支援が可能だと感じる」と回答した団体は3団体(5.5%)に留まった。

3. 今後の活動予定

新型コロナウイルス感染症の影響により 40 団体 (72.7%) が活動の見直しを検討しているが、 そのうち 37 団体 (67.2%) は活動の継続に意欲的であった。

- 4. 団体活動継続の上で必要な支援(まとめ)
 - ・活動従事者の安心や安全の確保に向けた支援
 - ・リモートワーク等活動環境の整備のための支援
 - ・活動場所の確保
 - ・支援者 (活動従事者) の支援

JSCP は新型コロナウイルス感染症拡大下において地方自治体が取り組む具体的な自殺対策として7つ提案しています。①組織内の連携体制の構築・強化、②住民への安心感の発信とセーフティーネットの積極的な活用、③自殺念慮を持つ者の早期の発見と支援につなぐ、④新型コロナウイルス関連の活動に従事する者に対する心のケア等の支援の実施、⑤過去の自然災害の被災者、これまで悩み、生きづらさを抱えていた人たち、自死遺族等への特別な配慮、⑥民間支援団体との連繋による自殺対策の強化、⑦今後自殺リスクの高まりが懸念される要配慮者への支援、を挙げています。特に、④⑤⑥は今回の調査とも関連のある項目となっています。自死遺族の会などの自助グループは、同じ問題を抱える者同士が集まり、体験や願いを語り合うことで、互いに援助し、回復を目指す集団および活動です。そういった目的のために、グループではお互いの声がしっかりと聞こえる距離、あるいは表情や仕草のわかる距離での語り合いが行われてきました。ソーシャルディスタンスの徹底やしきりの設置など必要な対策をしつつ、グループを運営・開催していくことはとても難しい事かと思われますが、途切れぬ支援が継続されていくことを望みます。

参考文献

いのち支える自殺対策推進センター、「自治体職員オンライン緊急研修会 配付資料」、2020 一般社団法人日本うつ病センター、『ワンストップ支援における留意点―複雑・困難な背景を有する人々を支援するための手引き―』、2018

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日

9:00~21:00

土曜日曜祝日(12月29日~1月3日を除く) 10:00~16:00

Tel: 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

パソコン HP URL: http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携带 HP URL: http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm

北海道はすっかり夏真っ盛りと行った陽気となり、いよいよ扇風機がフル稼働するようになりました。虫達も動きだし、毎夜発生する謎の虫の対応に追われております。

さて、今月ですが少し珍しい"巻き添え"自殺のニュースが報道されました。7月7日に中国で起きたバスの乗客を巻き添えにした自殺です。バスの運転手が乗客ごとバスを湖に転落させ、運転手を含む21人の乗員が亡くなったそうです。日本でも、5月に福岡県で意図的に交通事故を起こし自殺するという事件がありました。中国での事件は、新型コロナウイルス感染症の影響から起きた精神疾患との関連が疑われているそうです。今のところ自殺者数など新型コロナウイルス感染症による統計的な影響は確認されていませんが、経済的な問題や精神的負担などはこれからの方がよりはっきり表出されてくるかと思われます。今後も注視する必要があると考えます。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.134 は、令和2年8月末に配信予定です。

お問い合わせ先 北海道立精神保健福祉センター 札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号 Tel 011-864-7121 Fax 011-864-9546

URL http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/ Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp